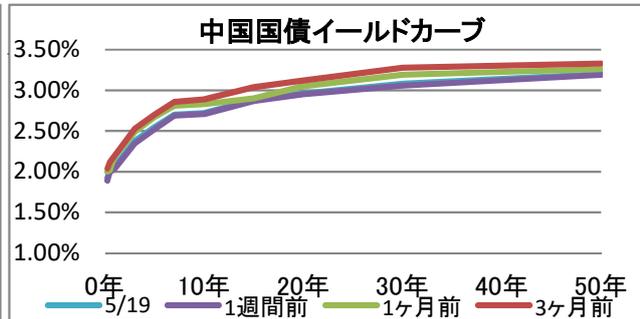
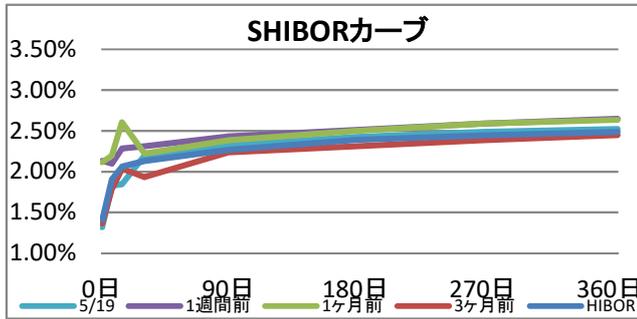


基準レート		2023/5/19	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.0356	+0.0875
	JPY/CNY	5.0790	-0.0882
SHIBOR	3M	2.2690%	-0.0560%
国債利回り	10年	2.72%	+0.01%
上海総合指数		3,283.54	+11.18



(1) 概況

国際金融市場では、米国での債務上限問題や消費者のインフレ期待等を背景に債券利回りが大幅に上昇する中、欧米の株式市場は小幅なレンジ内での取引に終始したが、日本株に対する強気の見方が台頭。為替市場では、日銀の金融政策スタンスに当面変更なしとの見方から、主要通貨に対して円安が進行している。

中国金融市場では、4月の経済指標が予想を下回ったものの、預金金利引き下げを契機に金利水準は既に低下していたことから、債券利回り、株式市場ともに反応は限定的。為替市場では、金利差拡大や旅行需要回復による外貨需要増、先行きの輸出減への懸念もあって、昨年12月以来となる1ドル=7.05を超えて急速に元安が進行し、中国人民銀行等から投機的な動きを牽制する声明が出るもやや戻したものの、7.02台で週末を迎えている。

中国では、習主席が中央アジア5か国首脳会議で広域経済圏構想「一帯一路」の推進や経済・貿易関係強化等で合意し、李総理はシンガポール副首相との会談で、両国が先般合意した「質の高い協力関係」に基づく関係強化を再確認。国务院常務会議では、効率的で規範化され、公平な競争が確保された全国統一大市場建設加速方針が改めて示された。中国銀行保険監督管理委員会を発展的に改組する格好で国家金融監督管理総局が設立され、同局トップの李雲沢氏が「実体経済支援、金融リスク管理、金融改革深化を三大任務とし、金融監督の隙間や盲点をなくすよう努める」方針を示し、中国人民銀行は、スワップコネクト開始に際し、金融対外開放と香港国際金融センターの発展支援が重要任務とし、多国籍企業のクロスボーダー資金集中管理に関する政策改善継続や外為市場の投機的な動きを抑制する方針を示した。証監会は、REIT上場加速に向け証券取引所に審査改善や情報公開強化等を指示し、国内上場企業の中国外でのGDR発行ガイドラインを公表。なお、海外投資家による中国債券保有高は、3月に前月比横ばいとなった後、4月は再び減少に転じている。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日120億元、MLF期日1000億元、中央国庫定期預金期日500億元に対して、リバースオペ億元100億元、MLF1250億元を実施し、ネットで270億元を吸収。

(3) 主な経済指標

- ・小売売上高(4月)は前年比+18.4%(3月、同+10.6%)と伸びを高めたが、前年(-11.1%)の上海ロックダウンの反動を割り引く必要。自動車や飲食関係、衣料等は需要回復等から高い伸びとなったが、家具や家電は、不動産販売の低迷等を反映し、1桁の伸びに止まった。

- ・鉱工業生産(4月)は前年比+5.6%(3月、同+3.9%)。前年(-2.9%)の上海ロックダウンの影響を考慮すると弱めであり、前月比では減少(-0.47%)。自動車は、販売好調な新工ネ車を中心に大幅な伸びとなったが、パソコンやスマホ等の消費財や、不動産建設の低迷を背景に鋼材、ガラス、セメント等で弱い動きが続いている。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.4080%	1.5000%	1.8500%	
1W	1.9100%	2.1500%	1.5500%	
2W	2.0620%	2.1000%	2.0000%	1.8500%
1M	2.1310%	2.2000%	5.9000%	1.9800%
3M	2.2690%	2.7500%	2.4000%	2.2300%
6M	2.3900%	2.6000%	2.8500%	2.3200%
9M	2.4450%			2.4200%
12M	2.4890%	3.4000%		2.4700%

一部で期待されていたMLF金利引き下げはなかったものの、預金金利低下が進んでおり、金利水準は低位で安定している。ターム物の金利水準は1ヶ月が2.2%前後で出会っている以外は限定的。

NCDは引き続き高水準の発行が続いているものの、金利水準は低水準で安定しており、ターム物の金利水準は、1ヶ月が1.9%台後半、3ヶ月が2.2%台前半、6ヶ月が2.3%台前半、1年が2.45%前後で取引されている。

(2) 米ドル資金(本土内)

	BID	OFFER
ON	5.14%	5.15%
1W	5.20%	5.25%
1M	5.35%	5.40%
3M	5.40%	5.48%
6M	5.40%	5.46%
12M	5.35%	5.40%

6月のFOMCにおける金融政策見通しが不透明なことから、近く公表される前回FOMCの議事要旨を確認したいとの意向が強く、中国国内市場ではビッドしつかりの展開に大きな変化は見られず、ターム物の出合いは引き続き限定的。ターム物の金利水準は、1ヶ月は5.35%前後、3ヶ月は5.45%前後で取引されている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.93%		2.27%	2.31%	2.48%
6M	2.02%		2.34%	2.38%	2.55%
1Y	2.07%	2.13%	2.49%	2.57%	2.76%
3Y	2.38%	2.55%	2.79%	2.92%	3.49%
5Y	2.55%	2.69%	2.86%	3.10%	3.78%
10Y	2.72%	2.91%	3.10%	3.38%	4.16%

米国債券市場では、債務上限問題やFRBの金融政策見通しを材料に売られやすい展開となり、消費者の根強いインフレ期待を契機に利回りが一段と上昇し、10年債利回りは約2ヶ月ぶりの水準に上昇している。中国では、中国人民銀行はMLF金利を引き下げなかったものの、経済指標が予想を下回ったこと等から金融緩和期待は強い一方、金利低下余地の乏しさや外為市場での元安進行もあって、債券利回りは下げ渋っており、概ね横ばい推移となっている。

米国では上記要因から10年国債利回りが3.67%（前週比+21bp）に上昇しており、10年中国国債（2.72%、+1bp）に対する上回り幅は+95bp（同+20bp）に一段と拡大している。

イールドカーブは、短期の信用債利回りが低下した以外は概ね先週末の水準を中心に小幅な値動きに終始しており、変化はなかった。クレジットスプレッドは、短期では信用債利回りの低下により縮小が続いたが、その他は概ね変化なし。

④先物為替市場

	USD / CNY
1M	-242.0 / -240.0
3M	-634.0 / -630.0
6M	-1235.0 / -1230.0
9M	-1735.0 / -1725.0
12M	-2130.0 / -2120.0

対ドル基準レートは7.0356と前週末比+875pipsのドル高元安、対円基準レートは5.0790と同-882pipsの円安元高と、市場での元安を受けた設定が続いた。中国国内市場では、中国経済先行き懸念を背景に米中金利差拡大懸念が更に強まり、節目とを抜けるとあっさりと7台に達し、7.05まで上昇後に7.02まで戻して週末を迎えている。

先物は、米中金利差拡大に対する利下げ期待からマイナス幅が一段と拡大しており、1年ものは-2000台後半で取引されている。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.07%		1.62%
6M	2.08%	2.30%	1.72%
9M	2.11%	2.34%	1.74%
1Y	2.14%	2.37%	1.77%
3Y	2.39%	2.68%	2.03%
5Y	2.60%	2.96%	
7Y	2.73%	3.10%	
10Y	2.88%	3.22%	

スワップ金利も、債券利回り同様に動意なく、概ね先週末水準での取引が続き、債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドにも変化は見られない。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。